

安全データシート

作成日:1995年4月1日

改訂日:2020年1月30日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

くえん酸一水和物

会社名

米山薬品工業株式会社

住所

大阪府中央区道修町2丁目3番11号

電話番号

(06)6231-3555(大阪・本社)

(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)

(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)

整理番号

BC0027

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

自然発火性固体:区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口):区分5

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:区分2B

ラベル要素

絵表示又はシンボル

なし

注意喚起語

警告

危険有害性情報

飲み込むと有害のおそれ

眼刺激

注意書き

【安全対策】

取扱い後はよく手と眼を洗うこと。

【応急措置】

気分が悪い時は医師に連絡すること。

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

【保管】

容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性

可燃性がある。(ICSC)

粉末や顆粒状で空気と混合すると粉じん爆発の可能性がある。(ICSC)

水溶液は弱酸である。銅/亜鉛/アルミニウム及びこれらの合金を侵す。(ICSC)

エアローゾルは眼/皮膚/気道を刺激する。(ICSC)

眼/呼吸器及び皮膚を刺激する。(EUDSD分類)

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学物質

化学名又は一般名

くえん酸一水和物

別名

くえん酸(結晶)

化学式

HOOCCH₂C(OH)(COOH)CH₂COOH・H₂O

化学物質を特定できる一般的な番号

CAS RN:5949-29-1

濃度又は濃度範囲

99.5%以上

官報公示整理番号(化審法/安衛法)

(2)-1318

化学物質排出把握促進法

第1種、第2種指定化学物質ではない。

労働安全衛生法

57条の2通知対象物ではない。

毒物及び劇物取締法

対象物ではない。

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のところへ移動させる。気分が悪い時は医師の診断/手当てを受ける。

皮膚に付着した場合	汚染された衣服を脱がせる。多量の水かシャワーで皮膚を洗い流す。皮膚への刺激が続く場合、医師の診断／手当てを受ける。
眼に入った場合	数分間多量の水で洗い流し（できればコンタクトレンズを外して）、医師の診断／手当てを受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぐ。多量の水を飲ませる。気分が悪い時は医師の診断／手当てを受ける。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	水噴霧／泡消火薬剤／粉末消火薬剤／二酸化炭素
使ってはならない消火剤	該当情報なし。
特有の危険有害性	該当情報なし。
特有の消火方法	該当情報なし。
消火を行う者の保護	消火活動は風上から行き、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。 保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用する。
環境に対する注意事項	河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	こぼれた物質を容器内に掃き入れる。湿らせてもよい場合が粉じんを避ける為に湿らせてから掃き入れる。 残留分を多量の水で洗い流す。
二次災害の防止策	火花を発生しない安全な用具を使用する。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	粉じんの堆積を防ぐ為、密閉系、粉じん防爆型電気及び照明設備を設置する。
安全取扱い注意事項	みだりにエアロゾル／粉じんが発生しない様に取扱う。 裸火禁止。 強塩基／酸化剤から離しておく。
接触回避	作業中は飲食／喫煙をしない。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	直射日光を避け、容器は乾燥した涼しい場所に貯蔵し、密封する。
安全な容器包装材料	ポリプロピレン／ポリエチレン
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度等	
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	未設定
設備対策	取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。
保護具	該当情報なし。
呼吸用保護具	粉じんマスクを着用する。（有害粒子用P2フィルターマスク）
手の保護具	ゴム手袋を着用する。
眼の保護具	ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	作業着を着用する。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	結晶
色	白色
臭い	無臭
融点・凝固点	135°C（ICSC）
沸点、初留点及び沸騰範囲	175°C（分解）（NITE）
燃焼性（固体、気体）	燃焼性がある。

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	174°C (NITE)
自然発火温度	1010°C (ICSC)
分解温度	175°C (NITE)
pH	水溶液は酸性を示す。
粘度 (粘性率)	該当情報なし。
溶解度	59.2g/100ml (20°C水) (ICSC)
n-オクタノール/水分配係数	log Pow = -1.72
蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	1.5g/cm ³ (密度) (ICSC)
相対ガス密度	該当情報なし。
蒸発速度	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	わずかに潮解性がある。
危険有害反応可能性	該当情報なし。
避けるべき条件	日光/熱/粉じんの発生/混触危険物質との接触
混触危険物質	強塩基/酸化剤
危険有害な分解生成物	該当情報なし。
11. 有害性情報	
急性毒性	無水物のデータとして経口-ラットLD50が3000mg/kgであることから経口は区分5とした。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	EUDSD分類がR-Phrase36/37/38でありGHS分類の区分2又は3に相当するが、分類の根拠となる他の情報が入手できない為、分類できないとした。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	EUDSD分類でR-Phrase36/37/38であり、眼-ラット 100mg rinse mildのデータがあることから区分2Bとした。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	該当情報なし。(分類できない)
生殖細胞変異原性	ラットのNOAELは2500mg/kg/日であり生殖毒性はないと考えられる。(SIDS)(分類できない)
発がん性	日本産業衛生学会/ACGIHI/IARC/NTPで掲載なし。(分類できない)
生殖毒性	該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	該当情報なし。(分類できない)
誤えん有害性	該当情報なし。(分類できない)
12. 環境影響情報	
生態毒性	淡水魚/ミジンコ/藻類に対して、また試験された少数の海洋生物種に対して急性毒性は低く、長期試験も同等の結果を示した。また、プロトゾアと活性汚泥部生物を含めた多くの種及び系統の最近に対して、明白な毒性の可能性を持たない。(SIAP)
残留性・分解性	排水処理上ならびに地表水中と土壌中で速やかに分解される。(SIAP)
生体蓄積性	該当情報なし。
土壤中の移動性	物理化学的特性に起因して環境中の移動性は高く、水区画に分布する。(SIAP)
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。 空容器の処理を委託する場合、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意	
国連番号	—
品名 (国連輸送名)	—

国連分類	—
容器等級	—
海洋汚染物質	—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規制に従う。
海上輸送	船舶安全法の規制に従う。
航空輸送	航空法の規制に従う。
応急措置指針番号	—
15. 適用法令	
化学物質管理促進法 (PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
消防法	危険物に該当しない。
16. その他の情報	
引用文献	国際化学物質安全性カード (ICSC) OECD:HPV-SIAP日本語訳 (SIAP) 製品評価技術基盤機構HP (NITE) 政府向けGHS分類ガイダンス 経済産業省HP The-Sigma-Aldrich Library REGULATORY and Safety Data Vor. 1 The-Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data Edition II 化学品の分類及び表示に関する世界中和システム (化学工業日報社) GHS Q&A 実務者の為のガイドブック (化学工業日報社)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。